「仏教（生き方を考える）基礎」第14回授業課題ワークシート

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学籍番号 | | 学科名（学部名は不要） | 氏名 |
| 2322003 | | データサイエンス | 阿部佑哉 |
| 問い① | 「よい社会」とは、どのような社会でしょうか？ | | |
| 私が考える「よい社会」とは、正しいことをした人間や真面目に生きている人間が損をすることなく、逆に悪いことに手を染めた人間や不真面目な人間が辛い思いをするような社会です。なぜなら、正しいことをしたはずなのに嫌な思いをする、真面目に頑張っているのに不真面目な人より不幸な人生を送る、というのは理不尽だと思うからです。犯罪行為をしてしまう人の中には、そういった理不尽に心を壊されてしまった人もいると考えます。なので、真面目な人や正しい人が報われるような社会がいい社会だと考えます。 | | | |
| 問い② | 所属する学科で学びたいことは何ですか？そして、その学びを、将来、どのように活かしたいですか？ | | |
| 私はデータサイエンス学科で、プログラミングやデータサイエンスを学び、またそれらの技術を活かして社会をよくしていくために必要なことを学びたいです。社会を変えていくためには単に技術があるというだけではなく、こういうものがあればいいんじゃないかというアイディアをひらめく力も必要になると考えています。いろいろな人が集まる大学という環境で、刺激を与え合いながらそういった力を身につけたいと考えています。そしてその学びを将来、困っている人や不便さを感じている人の暮らしをよくするために活かしていきたいです。 | | | |
| 問い③ | あなたがこれまでの出来事、出会いで特に影響を受けたのはどのようなことでしたか。 | | |
| 1つ目は、中学校のときに友達から言われた「もっと自分の意見もてよ」という言葉です。私は昔から内気で周りに流されやすい性格だったのですが、それを友達からはっきりと指摘されてはじめて気付きました。それからは、自分はどう思っているのかを常に意識しながら過ごしています。  2つ目は、大学選びで悩んでいるときに担任の先生から言われた「どこに行くかじゃなくて自分が何をするか」という言葉です。そのときの自分はなるべくいい大学に行くのがゴールと心のどこかで思っていたんだなと気付かされ、自分の学びたいことが学べると考えた武蔵野大学を選ぶきっかけになりました。 | | | |
| 問い④ | 仏陀・学祖からの学びにおいて、自らの生き方、考え方に活かせることはどのようなことですか。 | | |
| 自灯明・法灯明という考え方が自分にとってこれからの生き方の指標になると考えました。理由としては、自分はまだまだ他人に合わせてしまう、依存してしまうところがあるので、「他人を避難所に」していると思うからです。そうではなく、自分自身を心の拠り所として自立した考え方を持つことができることが、これからの人生に必要だと考えます。 | | | |
| 問い⑤ | フィールド・スタディーズ（FS）にむけた抱負 | | |
| 自分のフィールド・スタディーズは「日本の神様めぐり」です。神様という概念が生まれたのは遠い昔の時代ですが、その当時の人々が何に苦しみ、神様に何を求めていたのか、自分で考えてみることで、今の自分にとって必要な何かに気付けるのではないかと考えています。なので、ただぼーっと話を聞いたりするのではなく、1つ1つ自分の頭で考えながら取り組みたいと思います。 | | | |